

認知機能低下の方に寄添う通いの場の創出

<検討の経過>

令和 3 年 3 月 高齢支援課内で、今後の「認知症施策」「高齢者の通いの場の創出」について検討

3 月 9 日 **認知症地域支援推進員会議**（課題の共有、取組概要の説明）

4 月 6 日 **包括支援センター代表者会議**（取組概要の説明、協力依頼）

4 月 20 日 第 2 層 Co への説明（取組概要の説明、協力依頼）

第 1 回地域課題ネットワーク会議

【目的】事業や取組みについて、関係者で規範統合を図る

- * 地域課題の整理
- * 現在、認知機能低下している高齢者の受入れ状況の整理

(このあと…)

↓

- * それぞれの通いの場（認カフェ・地域介護予防教室・近トレ等）の実態把握を行い、次回 10 月 NW 会議で報告し、その後の取組を検討する。

6 月 16 日 **第 1 回 NW オレンジの会**（取組概要の説明、協力依頼）

7 月 14 日 **介護予防リーダー定例会**（取組概要の説明、協力依頼） 各教室の実態把握アンケートを実施

7 月 第 2 層コーディネーターより、近トレ・サロンへ、各団体の実態把握アンケートを実施（7 月発送、8 月末までに回収）

7 月 認知症支援地域推進員より、認カフェへ、実態把握アンケートを実施（各包括支援センター担当で訪問し、聞き取り調査）

支援案の検討を開始

【支援の 3 本柱】



- 1 啓発（ノウハウのレクチャー）
- 2 具体的なプログラムの提案内容
- 3 専門職の定期的な支援

8 月 25 日 **東京医療学院 内田達二先生に相談**（1 回目）

9 月 7 日 **東京都健康長寿医療センター 大淵先生に相談**（1 回目）

第 2 回地域課題ネットワーク会議

- * 通いの場の状況把握アンケートの結果報告
- * 支援の 3 本柱の説明
- * 今後の進め方検討
- * 具体的な居場所へのアプローチ方法の検討・役割分担

10月27日 東京医療学院 内田達二先生に相談 (2回目)

11月
コンセプト
決定

◆地域介護予防教室・近トレ編◆
今、活動している通いの場のコンセプトにプラスして…

- ① 月1回以上は、認知機能に働きかけるプログラムを取り入れる
- ② 住民主体の活動に対して、専門職からサポートを受けられる場
- ③ 認知機能が低下してもしなくても、皆がほっとできる場

◆このような通いの場をつくることの効果◆

- ① 認知機能の低下を緩やかにする
- ② 支えあえる仲間をつくることできる
- ③ 役割を持ち、成功体験をつめる
- ④ 自発的に社会参加を続けられる



認知機能低下があってもなくても

目指す姿

- ① 参加者全員が主役の場
- ② 一人ひとりに役割のある場

11月 各エリアで、それぞれの団体にアプローチ

11月 “創出支援の3本柱”の具体的な内容(素案)決定

- ・取組み開始時に、認知機能低下者に対するノウハウレクチャー
- ・日々の活動に取入れられる効果的な活動の提案、提供
- ・専門職の定期的な訪問による相談支援



11月16日 東京都健康長寿医療センター 大淵先生に相談 (2回目)

11月26日 東京医療学院 内田達二先生に相談 (3回目)

12月2日 第2回NWオレンジの会 “支援の3本柱”について説明、意見をもらう

12月14日 第3回地域課題ネットワーク会議

- * 各団体へのアプローチした状況報告 → 試行実施する団体を決定する
- * 支援の3本柱(案)の説明・検討

12月21日 介護予防リーダー世話人会 (具体的なプログラムの内容の説明・協力依頼)

12月下旬

- コンセプトの決定
- 支援の3本柱の決定

応援本

たま手箱



令和4年1月

プログラム等支援の
試行実施

地域介護予防教室 7ヶ所
近所 de 元気アップトレーニング 5ヶ所
計12ヶ所で プレゼンを実施!

コロナ急増で
通いの場が
一時休止!
プレゼンや
実施が延期

【プレゼンの様子】

プログラムの内容を、紙芝居形式で
世話人さんに説明



プレゼンを受けて
5団体が実施を希望!

2月~

1回目

＜啓発レクチャー＞ (包括・市・2層)

応援本 (前半) を使って、認知機能の低下があってもなくても、皆がほっとできる通いの場にするにはどうしたらよいか問いかける。認知機能低下について学ぶ。

2回目

＜追加プログラムの説明＞ (介護予防・フレイル予防推進員、リハ職)

応援本 (後半) を使って、効果的なプログラムを紹介。
継続してやっていくことの意義の説明。

3回目

＜かなひろいの実施と リハ職メニュー実施＞ (リハ職)

かなひろいを実施し、自身の状態に気づく。
リハ職メニューの中から1つ実施。

4回目

＜リハ職メニュー実施＞ (リハ職)

リハ職メニューを実施

4月~

5月~

5月頃

試行実施について評価 (世話人・参加者へアンケートを実施)

6~7月頃

内容見直し → より参加しやすい事業に改善

9月

事業全体について評価 (世話人・参加者へアンケートを実施)

令和4年10月~

認知機能の低下の方に寄添う通いの場の本格実施

拡大していくために、他の団体へ
どうアプローチしていくか・・・?

○○団体が実施

リハ職のメニュー

- ①脳トレ
- ②会話促進
- ③二重課題
- ④かなひろい
- ⑤栄養

翌週

3ヶ月後

1ヶ月後

